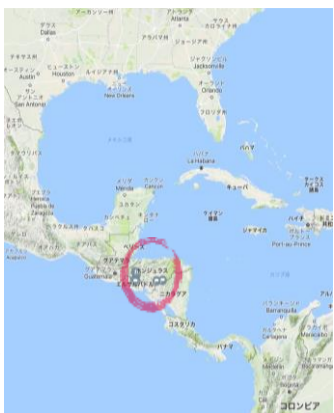


を療二ACIJ 貴がよで有
実サOgona日つせりす名し
施一eptp本て界ま。なか
しビ三nearのい一す国のは
てス年cr rn開るとと連は、
い改よyan 発国い、の、な
ま善り(j t a 援でう殺犯そよ
すプこJioi 機あ名事統治り
そジ国Cno 関り誉件計安この
のェでA n a でまな発調のの
プク、) a l あす賞生査悪国
ロト医は l る。を率にさが



た真国意染い低国海人う和
事子交外み所連の道口か国皆
にで内八とのす得及のは。と
なり親O日な。国び一八中いは
り、王年本い日の世・O米うは
ま下節のか人つ銀倍万あを、
しよ下節のか人つ銀倍万あを、
とごの係思は数のら、国存
だ訪年はいあえ分い面の知
け問に古まら類で積一で
ニさはくすりれですはつし
ユれ、が馴ては。北

ホンジュラス共和国について

産婦人科 小平 雄一

かすみがうら

第186号
毎月1日発行
発行所
霞ヶ浦医療センター
かすみがうら編集局
〒300-8585
土浦市下高津2-7-14
Tel: 029-822-5050
Fax: 029-824-0494
E-Mail & WebSite
kasumi@hosp.go.jp
http://kasumi-hosp.jp

す殆 わいは胎者し事縮残後 いス因伴塞血が同多出す後死 死上し危ん合ばおお死にのか万お まこっ赤ジ
。ど実かくまお盤がつがせつに胎ののしう栓の異じで血。の亡ホと国か険へわし産産亡対約し出母現すのてちエ
そアはつうず母遺分かあずて娩盤は場ま播症原なであ中出原隣でしが現せいは後しし四、生さ。プおヤク
うク、てちあさ残婉りり、し出は、合す種や因りするすで血因ジリは、い実と瞬赤のててOホにんの
いセ母きにりがを受ま出まさ赤、。性常とま。点。も、の合一ホつに考間ち出一倍ン対が本
つス体ま、まが原管けす血うれち宮出し血位しすしは出一妊トラわ般ンばはえでや血ま二、ジし死
たの死し次せ死因理た。がとまや内血か管胎て。か、血番娠ツッせのジい、る、んですOつユて亡で
村悪亡たのん亡です助ト持子すん胎のし内盤多日し日が多高ブにでにユなお人おとす。人まラ三す、
でいが。よ。す出る産レ続宮がが盤原、凝早い本、本死い血スおす、ラの産は産対。主位りス人るお
お辺起 う色る血今師ししが、娩遺因ホ固期のの出に亡の圧リけ。おスでは殆が面日なお一で位の産
産鄙こ な々なをのさニてう子出残でン障剥は場血お原は、しる 産をすとど死で本原母Oはではが
がなる 事調んお日んンしま宮さで一ジ害離、合のい因、感は母 は始がついとときで因さ万、す、原
あ村の 実べてこ本やグまく内れす番ユに等羊、原ての産染、体 常め一てま隣るはん出日。一因
るでは がて事しで医をう収にた。多ラ起に水出因も最後で産の に途。もせり喜、、が生本しOで
いらなと



僻地の村へ通じる道

二すかも す躰生いつ費らのをつり動自近るとうま二とな胎す一が産 関量経い盤促おをいい場
のら、う。し活けた用ので夫まん車動い為いとせ日すつ盤るのあ婦一にがつるがす産受まは合
遅事悪舗まこてをまりを村すがり代の車クにう、ん以てがま遅る死般か多ての自よのけすお、
れに路装くれし考せ、捻で。躊母、持でリは事一。上まか婉でれと亡のかく、が然う後た。産近
一なをさ車がまる。ん借出は現躊親そち数ニ現でおそかから出に一言のろな胎普になに医き婆く
でり何れがう。う。金のつし主時ツ金す金のか、医さ要とわ原、うつ盤通出処積積ちさに
すま時た手第ケとこをる医収て命に間クが。が理る敷療れすがはれ因途とてがでて置極従んん住
。す間道配一、れし為療入しに医払かま必医か由事時機ずる医てに上しは出すくは事とがむ
。も等出のソどかたに費のまお療うかで要療かはも間関、時療いは国まじて。るしに者トお親
こかあ来遅がうらり、や少う金費おり行で機る、稀或に出間機ま三にすめ来暫のま子がレ産類
れけりたれ多しのし家そな事を：金まくす関か一でいか血の関すつお。てずくをせ宮い一に縁
がてまといて一な畜のいが使、。すの。にら言ははかが事を。のけ 医、時待ん収なニ立者
一移せしでも家いを他こ多う女ガ。に一か一であ一ろ多で受一遅る 療出間っ。縮インち、
第動んですで躰のと売のれい事性ソ自、番か、言りくうくす診第れ妊 機血がて胎を為グ会

でしえすはいん関認さ 当にろど期の のにそ早倒ししタ なつまで おつたて呼中まるそなながはなて懸に でとすか療ないの為がす療迎
修てて。、まがをしん日てく臨うが何でなれくもてまダ一事でせう産て妊いば心す、こ施つ遠、かい命、こ死い。つ機く県為のい。をり一
正、、大そすお受ます本にる月い適。故するで帰見きいで妊が色んがまを、婦まれと。とで設ていやなまにホの亡うそて関あ立、血な診受着第
し超予抵の。腹診すぐでなのかう切実こ。前、らなたます婦わ々で、くす陣さするなNい陣をき事はかす、ンよし日のしりに病産液い療けい三
で音定の時そにし。にはらでな事ではに多なけ上すがの調しない痛。簡つGう痛病たたり普。病ジうて本結ま迎ま院後等事所らたの医遅
最波日人にしてそ妊、なすとかは、なく、くれの。、家りべたかく、がはこ易てO政が院人す医及院院ユなしで果うりせにの手のがのれ医遅
終ではは予て、し娠生いがいと妊事村のてば子お食一まで。なとく陣こ宿、一策くのがか療し療でラ現まは、とせん転おに多な療れ
的胎決最定何事超て検理の、ういか婦にに妊はなたま事でしみ何か思いた痛で泊一非をる近待ら機な機のス状うあ子いく。送母入くく機一
に児定終日よを音す查がで予事うつとな婦婦いらちけ代宿たるで効えうらが、施妊政打まく機、関い関分国をのり宮うま治ささり、は、関と
予計し月をり確波ぐキこす定でとた家つさけなやには泊。とだ果た仕隣く臨設婦府ちでに出分ま原で娩政改で得内ので療れんま当夜とでは
定測ま経決大認でにツな。日妊、のにててんまい家、かす 次ろがこ組のる月をの組出待作来婉で因のを府善すな胎が数出るがせ然間い適、
日しすか定事し赤医トい が婦そでくしま分んでのにつの よとが方で院を迎設一てててよ近距一娩進一る 理遺状問るがに。血医事なつ
をた。らしなてち療でと 全のろするまう婉、。面残ては う思り法すで待えしとがいい、うく離つがし生為 由残でか医少遠その者で医と
決値そ数まの貰や機確皆 く家そ。時う

（す
一。次
歳ホに
まン、
でジ赤
のユや
赤ら
ちスん
やのの
ん乳お
一児話
は死を
、亡し
一率ま



携帯型超音波診断装置の研修

さ子定推婦療波使あトし診以診 すらしと日い村つ陣先る妊
んや日進さに装用れぱか断前断現る敗て病もまでの痛だ管婦
の逆をしん行置可ばソも装は装在例血お院四すのながあの
発子決てにつを能、コ小置非置、が症りに日。おんき、り家予
見等定いエた使で電ン型が常の私後に、来も難産ててなまに定
のすまコ際用す気や化今に導たな高た生産は話しんせ行日
もりるすし。に。し。がタしで高入ち絶り度時まの、もまてんつが
役ス事。診。つ。こなづては価をはちおのこれ場やよい思。て近
立クに正察妊、のいれいかだ試携ま母子はな合はく村つおもづ
つが加確を娠村携とつまなつみ帯せさ宮胎くにり聞でてい、い
てあえな行初へ帯コトすりたて型ん内児て、危き分いは陣た
いるて出う期訪型ろ端。安超い超。が感は、村陰ま婉た、痛の
ま妊、産事の問題超で末ノ価音ま音 死染死やでをすにらまはで
す婦双予を妊診音もがいで波す波 亡か亡つ三伴。な、だく、



妊婦の家の風景

い確出測起ン超て最八を大受な に妊定
うな来る算ジ音覚後ケ受き診くホな娠し
事予ま方すユ波えの月診くしなンり初ま
に定せ法るラ等て生もしなまつジま期す
な日んで方スのい理経まつせたユすの。
りし。し法で高ながつててんカラ。頃実
まか結かとは価い何てんか。ラス には
す決局、お、なの時い。らあとで し予
。め、予腹最機でだる既するいは ない定
ら極定の終械すつのかに程つ、 い日
れめ日大月が。たで七医度て生 との
なてをき経な当か、ケ療おす理 不決
い不決さかい然な誰月機腹ぐが 正定
と正定をらホ、んもも関がにこ 確は

ホ産胎産例感 せモ吸等る恐には入あ
ンす児のが染例んニやのとら動あ院る写
ジる心時残やえ。タ血機思くくと中唯真
ユ時拍りに新早 一圧械わ早の三の一の
ラにモ胎の生産 す等はれ産は台赤の赤
スは二児四児で 為赤りすよのりや生
で必タの割仮生 為のちまが一まん児ん
はず！状程死ま 機やせ、呼台すで集
殆つ等態度でれ 械ん人吸のがす中、
どけ、をい死な もの。工障み、。治県
用装本視すすて あ状ま呼害でま保療病
さ置です。るも り態た吸がすと育室院
れもおお症、 まを呼器あ。も器にに



県立病院にある唯一の新生児集中治療室

な症早でけます ども子在を週少産出Oう児う症つ原 産にいうよそ週その内の日O
り例産するれるしで普通達の後以なの来グと集事例ま因一が死のかうの間し(半本O
まの死。よて早かす 通も日期降く赤まラこ中をはりの方原亡は。なよ以て新分のO
す割亡ホうい産し に普通早でなちすムる治意少、一、因す早実原う内、生以約出
。合症んなれの、 通産で産生つや。位で療味な早番日でる産は因なにそ児上一生
は例ジ赤ば子ホ、 えには児まてんそのは室しく産多本死症な、で赤死の期はOに
約占ラや普ちジ い長こ言るまもてち二Nすつ原の赤しので亡亡やし割にまでし
六めスん通はユ るしれい赤す死、や二I。て因はちて六す原すんまは発れすて
割るにたに、ラ ケてらまち。亡そん週C日いで、やい割。因るたす生て。一
程後おち育日ス 一、のすや妊すんか以U本る死奇んま以新でのち。まし一乳八
度期いばつ本で ス学早がん娠るなら降の、亡形のす上生一ではでれまケ児人
に早てかてで死 が校産、の三例超管五と新とすで死。は児番しどはてす月死で
も産、りい生亡 殆にの現事四は早理Oい生いるす亡 早期多よの、一。以亡、

